

スプリント競技ワーキンググループ中間報告

2019年12月13日

公益社団法人日本オリエンテーリング協会
スプリント競技ワーキンググループ座長 瀬川出

■スプリント競技 WG が認識しているスプリント競技に対する問題点・課題

- ・スプリント競技とは何か？の共通認識が確立しておらず、位置づけ・方向性にバラつきがあり、競技規則の行間を読み正しい方向性で運用することができていない。
- ・全日本スプリント大会に対する JOA のガバナンス不足、長期プランと財源確保の不十分さ
- ・競技レベルの向上に伴う運営への要求レベルアップによる、全日本スプリント大会を主管できる組織の不足。

■スプリント競技とは何か？

日本オリエンテーリング競技規則および関連規則類の運用に関するガイドライン付表2にある「速くて見やすくわかりやすいオリエンテーリングである。多くの観客の前で行う見せるオリエンテーリングである。」をスプリント競技のあるべき姿として再確認した。

これは、基本的には IOF の記述をそのまま日本語にしたものである。IOF が WOC の半分をスプリント系にしたのも、スポーツ競技間の生き残り競争に勝ち残る為に、見せる競技になる必要があるからである。日本でも、大きな方向性は世界に合わせた方が良いと考えるが、具体的な落とし込みでは、日本の事情の合わせた優先順位付けなどの配慮も必要である。

■提言案

・スプリント競技 WG の後継組織としてスプリント O 委員会を作り、スプリント競技に対するノウハウの蓄積・整理・標準化を行う他、全日本スプリント大会の開催地についてガバナンスを効かせる。計画的な開催候補トレインの選定、地元協会・地域クラブへの渉外サポートを行うが、各大会の主催は JOA、運営主体(主管)は地元協会・地域クラブを主体とした実行委員会を JOA 内に設置する。プロ運営業者の参加を妨げないが、過度な依存は避ける。

これに伴い、「全日本大会の開催と決定に関するガイドライン」については、公認大会のありかたを考える WG 最終報告なども踏まえた全面見直しを提案する。

・スプリント競技のスタート・フィニッシュに対する競技規則を補足するガイドラインとして、以下を提案する。

スプリント競技では、指定されていたスタート時刻に対する実スタート時刻の正確さよりも、実スタート時刻が正確に記録されることの方が重要であるので、電子式のパンチ計時システムやレーン毎のスタートゲートなどにより実スタート時刻を記録する。

電子式のパンチ計時システムをフィニッシュに複数設置する場合は、実フィニッシュ時刻の記録に差が出ないように時計合わせ等に配慮する。

・2020年度以降の全日本スプリント大会の在り方として、市街地トレインに舵を切ることで、多くの観客の前で行う見せるオリエンテーリングの実現を目指し、同時に採算性改善を図る。都市部の市街地トレイン開催は、参加者増と近隣からの運営者確保による収益性改善をもたらす。その初回として、2020年度については、東京都の市街地トレインでの開催の下準備中である。12/6(日)の開催を予定している。

これに伴い、日本オリエンテーリング選手権(個人競技)実施基準の一部改訂を提案する。フォレストのトレインと異なり、多くの一般の通行者が想定されるスプリントトレインでは競技のために長時間一定区域を占有することは困難であり、特に市街地トレインでの開催を想定した場合その影響は大きいためである。

スプリント競技の選手権は、予選・決勝レース方式とする。

↓

スプリント競技の選手権は、予選・決勝レース方式としても良い。

予選は必要に応じて各ヒート 30 名以下になるように均等に分割する。

↓

予選は各ヒート 30 名以下になるように均等に分割することが望ましい。

■WG に対するご意見・問い合わせ先

瀬川出 izurui16[at]gmail.com

委員会設立に先立つ形ではありますが、委員会に加入したい方を募集いたします。

是非一緒に日本のスプリント競技の発展を目指していきましょう。

付録

■スプリント競技用トレインの渉外について

・スプリント競技用トレインの渉外については、その前段として候補地探しのノウハウが重要である。残念ながら現状日本では車が通る道を競技中に沢山使うと警察の許可が取れない。従って、車道を使わないで広い範囲にアクセスできる場所を探すことになる。トレイン候補地として、以下の類型がある。

(1)大規模公園

従来の全日本スプリント大会開催トレインは、この類型である。

(2)大学キャンパス

本格的なスプリント競技が可能な類型で、近年注目されているが、当該大学の学生オリエンティアの公平性が担保できないという宿命を抱える。

(3)「ペDESTリアンデッキ」と「公開空地」の組み合わせ

品川スプリントや都庁スプリントは、この類型である。

(4)人車分離(歩車分離)思想で大規模造成された住宅地

2020 年度以降の全日本スプリント大会開催トレインとして、注力して開発する類型である。

WMG/WMOC2021 のポートアイランドは、この類型である。

・候補地が決まったら、誰に渉外したら良いのか？

公園や大学なら、管理者が必ずいる。ペDESTリアンデッキ、公開空地の各施設にも管理者がいるが、問い合わせ窓口が判り難いかもしれない。大規模造成住宅地は、自治会に先ずはアプローチする。

・渉外で説明すべきこと

フォレストでの渉外と同様に、企画書などを用意して、オリエンテーリングとは何かから、参加者人数、時間帯、設置物の数と位置、危険対策など説明を行う。今はまだ少ない市街地トレイルでの実施事例は、相手に安心してもらえる材料になる。重要なのは、相手が何を基準に判断するかを理解し、YES と言ってもらえる材料を揃えることである。